

議会だより

167

H30.2.1

三芳町

- 定例会の主な内容 P 2
- 一般質問(14人が町政を問う) P 8
- 子ども議会・成人式インタビュー P 18・P 19



11月26日
福祉まつり
写真の紹介が17ページにあります。

議会だより発行月 2月 5月 8月 11月

次の発行は5月1日の予定です。

平成29年
第6回 臨時会
 (10月3日)
第7回 定例会
 (12月1日~12日)

平成29年第6回臨時会が10月3日に、第7回定例会が12月1日より12日まで開かれました。第6回臨時会では、1件の報告があり、1件の議案が原案通り可決されました。第7回定例会では、発議1件、議案11件、同意1件がありました。補正予算

に対し修正の動議が提出され、修正可決されました。その他の発議・議案・同意については原案通り可決・同意されました。一般質問は14名の議員が行いました。

社会福祉協議会が入っている商工会館

歳入の主な内容

- 農業人材力強化総合支援事業補助金（新規就農者を支援する県からの補助金） **112万5000円**
- 里山・平地林再生事業補助金（里山・平地林を再生することを目的とした県の「彩の国みどりの基金」からの補助金） **363万5000円**
- ふるさと納税寄附金（ふるさと納税寄附金の増額が見込まれる） **7600万円**
- 前年度繰越金（前年度の剰余金） **6億3354万7000円**

歳出の主な内容

- ペタリングジャヤ市姉妹都市提携歓迎レセプション等費用 **53万3000円**
- ふるさと納税寄附謝礼（返礼品） **3040万円**
- ふるさと納税手数料（仲介手数料） **1140万円**
- 国民健康保険特別会計繰出金（国民健康保険特別会計の財源不足による一般会計からの繰り出し） **5000万円**
- こども医療費（0歳～中学生の医療費の一部を支給する子ども医療費支給事業の財源不足が見込まれる） **738万3000円**
- 農業人材力強化総合支援事業（新規就農者の所得を支援） **112万5000円**
- 上富平地林整備業務委託料（上富の平地林1万4000㎡を再生・整備するための県補助金による事業） **363万5000円**
- 財政調整基金積立金（剰余金の一部を財政調整基金として積み立てる） **5億475万3000円**
- ふるさと納税寄附積立金（ふるさと納税寄附金をまちづくり寄附基金に積み立てる） **8655万1000円**

補正予算を修正可決

議案第 58 号

平成 29 年度三芳町一般会計補正予算（第 7 号）

修正可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ 7 億 2 6 9 6 万 2 0 0 0 円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 1 3 2 億 3 5 0 8 万 4 0 0 0 円とする補正予算原案に対し、歳入歳出それぞれ 2 2 0 万 6 0 0 0 円を減額する修正案が賛成多数で可決され、歳入歳出予算の総額 1 3 2 億 3 2 8 7 万 8 0 0 0 円となりました。

修正の内容

社会福祉協議会補助金（社会福祉協議会移転の関連費用）の 2 2 0 万 6 0 0 0 円を削除しました。この補助金は、現在の社会福祉協議会が入居している商工会館の建物が耐震上に問題があるとして、役場庁舎内に移転させるため計上されたものです。

修正の理由

商工会と協議がされていない、ボランティアに説明が行われていない、耐震補強の必要性は必ずしも緊急を要するものではないなど、再度協議が必要なため。

また、庁舎内に移ることによるセキュリティ対策の問題、相談者のプライバシー保護の問題などに対しても指摘、質疑がありました。

原案に対する

公明党

賛
討
成
論

商工会館が耐震診断で要補強の結果であった事を考慮し、1階に賃貸している社会福祉協議会を役場庁舎内に移転させることは理解できる。

また、庁舎への移転で福祉課と社会福祉協議会の連携がしやすくなり、相談窓口のワンストップ化が実現すれば福祉充実に繋がるので賛成する。

条例等

平成30年度より
国保値上げ

議案第52号

三芳町国民健康保険税
条例の一部を改正する
条例

国民健康保険特別会計の
安定運営と広域化に伴う税
率改正を行うもの。
改正により被保険者ひと
りあたり約1万1000円
の増額となり、全体では約
1億1000万円の税収増
を見込む。平成30年4月1
日より施行。

問 均等割額が増額される
と所得の少ない方も負担増
となるがどう考えるか。
答 加入者は1人・2人の
世帯で8割を占め、また所
得も0〜200万円の世帯
が8割となっている。均等
割額も所得に応じて7割・
5割・2割軽減される。

問 増収は1億1000万
円と説明があったがどう
か。
答 あくまでも被保険者数
が減らないと仮定した場合
で、実際は見込より半減す

		現行	改正後	影響額
医療分 (0～74歳)	所得割率	7.0%	7.0%	
	均等割額	24,000円	33,000円	約6,000万円
	課税限度額	500,000円	540,000円	約800万円
後期高齢者 支援分 (0～74歳)	所得割率	1.8%	2.4%	約3,100万円
	均等割額	9,000円	9,000円	
	課税限度額	140,000円	190,000円	約813万円
介護分 (40～64歳)	所得割率	1.5%	1.5%	
	均等割額	11,000円	11,000円	
	課税限度額	120,000円	160,000円	約331万円
合計課税限度額		760,000円	890,000円	

る可能性がある。

問 三芳町は国民健康保険
の広域化もあり均等割額を
増額した。県内他自治体で
同様の市町村はあるか。
答 県の情報では、保険税

率のみの変更は9市町村あ
り、4方式から2方式への
変更による増税もあると聞
いている。

反
討
対
論

日本共産党

国民健康保険税は平成28年度値上げを
したばかり、平成30年度の値上げで町民
への負担額は1億1000万円。所得300万未満の世帯が
90%を占める現状の中、値上げとなると支払困難者増が予
想される。生活困窮者・子どもの貧困が問題となっている中、
国保税の値上げは認められない。



議案第53号

三芳町子ども医療費の
支給に関する条例の一
部を改正する条例

こども医療費の支給につ
いて条文の文言を改正する
もの。

第3条第2項第3号

『対象乳幼児』

← 『対象こども』

第4条

付加給付金については削
除する。

議案第54号

三芳町ひとり親家庭等
の医療費の支給に関す
る条例の一部を改正す
る条例

所得税法の一部改正等に
より所要の整備を行うもの
で、平成30年1月1日施行
の配偶者控除、配偶者特別
控除の改正により配偶者の
定義が変わるため、文言の
改正や見直し、また支払い
方法を明確化するもの。
第4条

『控除対象配偶者』

← 『同一生計配偶者』

※内容は変わらぬ

議案第55号

三芳町道路線の認定に
ついて

開発行為により作られた
道路や私道の採納手続きが
完了した道路など全5路線
を町道として認定するも
の。

議案第56号及び第57号

富士見市の公の施設を
三芳町の住民の利用に
供することに關する協
議について(下水道分)
(下水道分)

藤久保第2区内の富士見
市と隣接する民間開発によ
る125所帯が入る集合住
宅の計画において、三芳町
の上下水道施設が使えない
ことにより、富士見市に依
頼することとし協議を行っ
てきた。

その結果、富士見市より
利用承諾をいただいたの
で、法の規定により議会の
議決を求めるもの。



補正予算

5000万円を一般会計から新たに繰入

議案第59号

三芳町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)

3530万6000円を追加し、予算総額を49億9891万7000円とするもの。

問 一般会計からの繰入金5000万円が今回補正され、繰入金総額は3億5000万円となる。法定繰り入れ分はどれくらいか。

答 約1億円が法定繰り入れとなり、それ以外が法定外となる。

問 この時期に繰り入れとは保険料が足りてないので、前回値上げしたがそのような見解か。

答 例年赤字補填が2億3億とある。2年前の保険料値上げで概算で1億1000万円程度見込んでいたが、被保険者数の減もあり6000万円程度となった。今回の繰り入れでも少

し足りないかも知れないので、その時は3月に補正となる。

問 被保険者の減があれば支出も減るかと思うがどうか。

答 医療費も若干の減はあるが、ひとりあたりの医療費は伸びている。

介護職員の処遇改善

議案第60号

三芳町介護保険特別会計補正予算 (第2号)

107万円を追加し、予算総額を26億2275万8000円とするもの。

問 介護報酬改定に伴うシステム改修とはどういうものか。

答 平成30年度改正される処遇改善と介護保険の適用除外施設における住所地特例の見直しが予定されているので、システム改修が必要となる。

問 事業者に対する処遇改善ではなく、労働者に対する改善か。

答 そのとおりだ。

議案第61号

三芳町下水道事業特別会計補正予算 (第2号)

5996万5000円を追加し、予算総額を8億8227万1000円とするもの。

議案第62号

三芳町水道事業会計補正予算 (第2号)

資本的支出のうち、建設改良費として、浄水場中央監視設備更新工事を平成29年度分に1512万円追加するもの。

同意しました

任期満了に伴う委員の選任について議会に同意を求められたので、適任と認め同意しました。

三芳町固定資産評価審査委員会委員

金谷富江氏 (再任)

第6回臨時会

衆議院解散

総選挙費用を専決

報告第7号

専決処分事項の報告について(平成29年度一般会計補正予算) (第5号)

9月28日衆議院が解散され、10月10日公示、22日投票と決まったことでその選挙にかかる費用を専決処分したものの。

主な歳入

県支出金 選挙費委託金

1393万6000円

主な歳出

衆議院議員選挙費

1511万2000円

※歳入と歳出の差額分の117万5000円は町の財政調整基金より繰り入れ

専決処分とは

本来議会の議決が必要だが議会を開く時間がなかったり、あらかじめ議決で決められた事項を町長が自由に処分できると

マレーシアで里神楽 議案第50号

一般会計補正予算 (第6号)

739万5000円を追加し、予算総額125億812万2000円とするもの。

以前より中学生の海外派遣事業もあり交流のあるマレーシアペタリンジャヤ市で11月に国際フェアが開催されることで三芳町も招待され、国際親善交流活動として参加するもの。竹間沢里神楽の皆さん他職員1名分の旅費等 50万2000円



■平成 29 年第 5 回定例会 審議結果

○賛成 ×反対

議案等番号	議案等名称	議員名 結果	三芳みらい					日本共産党			公明党						
			安澤 豊	井田 和宏	細田 三恵	細谷 三男	菊地 浩二	拔井 尚男	山口 正史	増田 磨美	本名 洋	吉村美津子	小松 伸介	岩城 桂子	内藤美佐子	久保 健二	鈴木 淳
発議第 4 号	三芳町議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 52 号	三芳町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議長	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議案第 53 号	三芳町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 54 号	三芳町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 55 号	三芳町道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 56 号	富士見市の公の施設を三芳町の住民の利用に供することに 関する協議について（下水道分）	原案可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 57 号	富士見市の公の施設を三芳町の住民の利用に供することに 関する協議について（水道分）	原案可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第 7 号	三芳町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	原案可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 58 号	平成 29 年度三芳町一般会計補正予算（第 7 号） ※動議第 2 号で修正された部分以外の賛否	修正可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動議第 2 号	議案第 58 号平成 29 年度三芳町一般会計補正予算（第 7 号） に対する修正動議	可決	×	×	○	×	○	議長	○	○	○	○	×	×	×	○	○
議案第 59 号	平成 29 年度三芳町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 60 号	平成 29 年度三芳町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 61 号	平成 29 年度三芳町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 62 号	平成 29 年度三芳町水道事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■平成 29 年第 6 回臨時会 審議結果

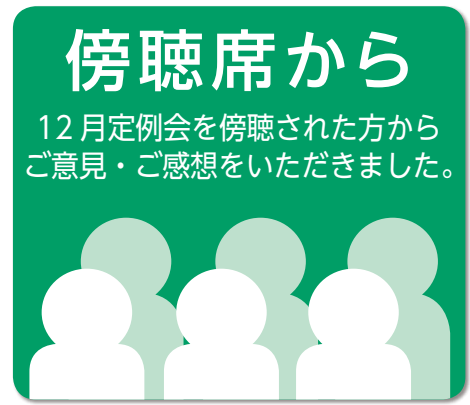
○賛成 ×反対

議案等番号	議案等名称	議員名 結果	三芳みらい					日本共産党			公明党						
			安澤 豊	井田 和宏	細田 三恵	細谷 三男	菊地 浩二	拔井 尚男	山口 正史	増田 磨美	本名 洋	吉村美津子	小松 伸介	岩城 桂子	内藤美佐子	久保 健二	鈴木 淳
報告第 7 号	専決処分事項の報告について（平成 29 年度三芳町一般会計補正予算（第 5 号））		報告のみ														
議案第 50 号	平成 29 年度三芳町一般会計補正予算（第 6 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○

日程	人数
12月 1日 議案審議	0
12月 4日 一般質問	16
12月 5日 一般質問	8
12月 7日 一般質問	12
12月 8日 一般質問	11
12月 12日 議案審議	1
合計	48

平成29年
第7回定例会の
傍聴者数





●議会について

質問が身近かなものと感じられる。答えがそれに充分対応していない。(でもいい感じの質問と答弁だとも感じられる。三芳から浜松へ、そして川越へと変りましたが、川越は浜松と同様議会は閉鎖的です。通告書が公表されていない)

(川越市S・Fさん)

住所表示の問題で質問します。何年も前より要望しているのですが、議会、町役場としてどういう考えでおられるのかお尋ねします。他市(富士見市など)に聞いてみたらどうでしょうか。

(藤久保T・Sさん)

町の財産譲渡についてもっと知りたいと思った。

(みよし台男性)

答弁者の答弁を聞いてみると、把握していない、難しい、検討したいなどのあいまいな答えが多いと感じます。住民からするとほんとうに検討しているのか疑問い内容について住民から問い合わせがあったなら、どのように検討して、どのような結果になったのか答えられるようにして欲しいです。

(北永井Nさん)

●議会だよりについて

見たことは何度もあるが見ていてもわかりづらい。流れで傍聴した方がわかりやすいと思う。議会をみたため、もう少しつつこんで書いて欲しい。

(藤久保H・Sさん)

他にもたくさんのご意見をいただきましたが、一部を紹介しました。

議会活動日誌

11月

- 2日 茨城県常総市議会議会だより編集委員会視察来庁
- 7日 議会運営委員会
厚生文教常任委員会
- 8日 総務常任委員会
- 9日 北海道七飯町議会民生文教常任委員会視察来庁
総務常任委員会所管事務調査
- 10日 議会広報広聴常任委員会
- 13日 第10回政策検討会議
- 15日 全員協議会
石川県穴水町議会議会運営委員会視察来庁
- 16日 平成29年度議会広報研修会
- 20日 宮城県大和町議会議会運営委員会視察来庁
- 24日 議会運営委員会
総務常任委員会
- 27日 議会広報広聴常任委員会
- 29日 第2回政策サポーター会議

12月

- 1日~12日 平成29年三芳町議会第7回定例会
- 1日 第11回政策検討会議
- 6日 議会広報広聴常任委員会
- 8日 全員協議会
厚生文教常任委員会
- 11日 議会運営委員会

- 総務常任委員会
- 15日 第12回政策検討会議
- 19日 議会運営委員会
- 20日 入間東部地区衛生組合議会運営委員会
第3回政策サポーター会議
- 21日 議会広報広聴常任委員会
- 25日 入間東部地区衛生組合議会定例会

1月

- 9日 全員協議会
議会運営委員会
- 11日 議会広報広聴常任委員会
- 12日 議会運営委員会
平成30年三芳町議会第1回臨時会
- 15日 第13回政策検討会議
- 16日 全員協議会
- 17日~18日 厚生文教常任委員会所管事務調査
- 19日 総務常任委員会
- 22日 厚生文教常任委員会
- 23日 議会運営委員会
宮城県名取市議会視察来庁
- 24日 第4回政策サポーター会議
- 25日 総務常任委員会
- 29日 議会広報広聴常任委員会
- 31日 岩手県盛岡市議会まちの活性化対策特別委員会視察来庁



町政への信頼、内部統制の制度化を！ 住民監査請求への対応可能に

公明党
内藤美佐子
ないとう み さ こ



問 地方自治法改正により、地方公共団体において内部統制の制度化が規定されたが、本町の取組みは。

答 総務課長 改正法では努力義務規定であるが、今後全市町村への義務化を見据え、研究し準備を進める。

問 専門の外部監査人による外部監査制度導入は。

答 総務課長 現段階ですが、条例化は考えていないが、導入に向けた研究をする。

災害の備え万全に

問 平成29年度の新規事業として被災者支援システム導入が公表されていたが、予算化しない理由は。

答 自治安心課長 運用について各課横断的に検討が必要な課題があり、体制が整わず予算化を見送った。

問 今後の対応は。

答 自治安心課長 平成29年度の町長施政方針に掲げられており、速やかに導入に向け取組みを進めていく。

旧清掃工場等跡地は

問 旧清掃工場・ふれあいセンターは利用されなくなったにもかかわらず未だ

そのままの状態であり危険。今後の活用等の考えは。

答 財務課副課長 検討委員会を立ち上げ民間事業者と対話型市場調査を実施し検討中。平成29年度中に町の方針を決定したい。

がん検診の充実を

問 集団検診で実施の乳がん検診に、住民が可能な時間に医療機関で受診できる個別検診導入は。

答 保健センター所長 受診しやすい環境を整えることは重要。2市及び医師会と協議を進める。

問 子宮頸がん検診に合わせHPV検査の導入は。

答 保健センター所長 現在導入は考えていないが、2市1町にて協議する。



学校敷地内にある建築物は全て保険加入を 幹線16号線道路拡幅事業の早期完成を

三芳みらい
細谷三男
ほそ や みつ お



問 三芳中学校体育小屋火災の原因は判明したのか。

答 学校教育課長 原因については不明。現場検証の結果、発火物等は確認されていない。

問 焼失したテントの補充は、どのようになったか。

答 学校教育課長 PTAで2張を購入した。平成30年度学校備品として、1張を予算要求する予定である。

問 焼失した用具等の損失額は、どの程度になるか。

答 学校教育課長 焼失した用具等を、現在価格で購入するとしたら、概算で220万円程度かと思われる。

問 火災となった跡に小さな物置が設置されたが、大きさは十分なのか。

答 教育総務課長 平成28年に設置した、交差点側の建物を活用する事で足りる。

問 今回の火災を教訓にして、敷地内にある建築物は全て保険加入をするべきだと思いがどうか。

答 教育総務課長 平成30年度予算要求に計上したい。

国道254号と幹線16号線交差点への信号機設置要望について

問 国道254号への信号機設置要望の状況は。

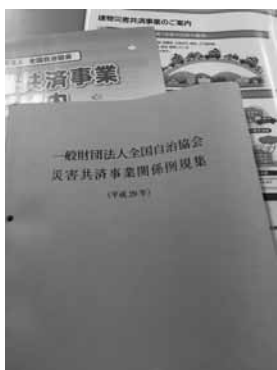
答 道路交通課長 東入間警察署及び県警本部に要望済みで、現在協議中である。

問 幹線16号線の道路拡幅用地交渉の状況は。

答 道路交通課長 平成29年度当初、土地鑑定評価と物件補償の算定を行い、地権者に補償額を提示し、検討を依頼している。

問 路線バス再編について、交通審議会と地域公共交通会議の合意が得られたのか。

答 政策推進室長 交通審議会からは、再編についての答申をいただき、地域公共交通会議でも、建設的に進められている。今後も会議を継続していきたい。





公明党
岩城桂子
いわき けいこ

持続可能な環境整備を 男女共同参画社会推進条例は



問 循環型社会形成の推進からごみの減量化や資源化の取組みは。

答 環境課長 住民説明会でごみの分別が徹底され、リサイクル率も28%である。

問 資源ごみの不法持ち去り対策はどうか。

答 環境課長 職員の巡回や業者の監視を行っている。

問 不法投棄の防止対策は。

答 環境課長 広報やHPで周知し巡回パトロールを行っている。

問 都市鉱山のレアメタルから東京オリンピックメダルを作成する呼びかけがあるが当町の小型家電回収ボックスの周知は。

答 環境課長 皆のモデルプロジェクトに参加している。更に情報発信していく。

多様性を認め合う社会

問 行政公文書の性別欄記載の見直しはどうか。

答 総務課長 271件の書類を今後各課で調査し見直していきたい。

問 LGBTに対する理解促進と啓発のため職員研修や人権教育の取組みは。

答 総務課長 職員人権教育の中に取り入れ、ヒューマンフェスタ等で周知する。

189児童虐待防止は

問 子供の虐待を未然に防止するため家庭や学校、医療関係との連携はどうか。

答 こども支援課長 三芳町子どもを守る地域ネットワーク協議会で情報共有を図っている。

問 児童相談所全国共通ダイヤル189の周知は。

答 こども支援課長 普段より広報啓発活動をしている。更に周知していく。

行政サービスの拡充

問 道路行政での困り事をSNSで対応する取組みは。

答 道路交通課長 今後情報アプリを検討していく。



役場や公民館に設置された「小型家電回収ボックス」



三芳町 誘致競争に参戦 備えは万全か どうなる商工会・商工会館 町の考えは



久保健二
くぼ けんじ

問 企業立地促進指定エリアが設定され、説明会が開催されたが、対象者は。

答 総合調整幹 本事業の対象地である、企業立地促進エリアのうち農地を除く地権者を対象に行った。

問 対象者数及参加者数は。

答 総合調整幹 対象となる地権者数240名(町内119名、町外121名)、参加者は56名。

問 地権者の意向確認はどのように行われているのか。

答 総合調整幹 6月28日に開催した説明会で土地利用に関するアンケート調査を実施。10月13日より直接出向き意識調査を実施。

問 9月14日に日経新聞に掲載されたが、相談件数は。

答 総合調整幹 新聞掲載後の問い合わせ件数は27件。

商工会館について

問 商工会館建設時、町以外に国、県からも商工会館を50年間保持することが条件で補助金が出ているが返還義務等、発生しないのか。

答 財務副課長 国、県から商工会への補助金について

では町では把握していない。

問 今回、町の計画、方針で耐震補強が出来ないわけだが、返還義務等発生した場合、説明、返還は誰がすることになるのか。

答 財務副課長 国、県に返還が発生するのかどうかも含め協議していきたい。

問 商工会が移転することになった場合、家賃負担等どのように考えているのか。

答 財務副課長 町が所有する施設に入ると仮定した場合、条例等に従い減免規定等考慮し負担してもらう。

問 今後の協議の中で商工会との折り合いがつかず、移転等に時間が掛かった場合、補助金に影響が出ることはあるのか。

答 財務課長 補助金に影響があるとは考えていない。



「耐震補強・移転・建替え」今後が注目される商工会館



三芳みらい
菊地 浩二
きくち こうじ

生徒会費、正しく使われていますか 新しいバス路線は早期に実現できますか？



問 生徒会費の用途基準は。 **答** 学校教育課長 基準は設けてはいない。

問 生徒会予備費で黒板消しクリナー等を約20万円で購入しているが、生徒会費として正しい使い方か。 **答** 学校教育課長 学校環境整備が必要ではないかということでの購入で、明確に線引きは出来ない。

問 会計規模が繰越金80万円を含め190万円を越える生徒会もある。中学生が扱うには大きな金額だが、保護者には生徒会会計をどのように説明しているか。 **答** 学校教育課長 保護者に届くような会計報告を出すべきと考える。

問 公費負担する経費との線引きは出来ているか。 **答** 学校教育課長 個人所有となる物は私費で負担していただき、それ以外は公費負担となっている。

問 本来公費負担とすべき経費が生徒会費から支出している。改めて生徒会費の検討が必要では。 **答** 教育長 いろいろな課題がある。各中学校には使途の精査や徴収額など必要に応じ見直しを図ることも

指導していきたい。

どうなる？バス路線再編！

問 平成28年度末でデマンドタクシーが廃止された。交通政策は後退した感があるがどう考えているか。 **答** 政策推進室長 デマンド交通の試行により見えてきた課題を検討し、バス路線の再編を進め、早期に実現できるよう努力している。

問 進めているバス路線再編の進捗状況はどうか。 **答** 政策推進室長 全ての課題をクリアしたのちバスを通したいが、道路幅が予定通り進んでいないこともあり、平成30年4月からの運行は厳しい状況だ。



鈴木 淳
すずき じゅん

市街化区域の農地保全と住環境整備の両立を 削減した財源の充当先は本当に必要な事業に



問 三芳町は都心から30km圏内にありながら、畑作中心の都市農業が盛んである。しかし農業を営み続ける上での維持費となる固定資産税の負担は、特に市街化区域内の農地で営農する農家にとって非常に重い。市街化調整区域の農地との固定資産税の差はどの程度か。 **答** 税務課長 平均になるが、約1.40倍の差がある。

問 土地の利用や転用に制限がつく生産緑地制度であるが、三芳町が導入した場合、市街化区域内の農地の固定資産税はどうなるか。 **答** 税務課長 市街化調整区域の農地並みになる。

問 平成29年6月の改正で生産緑地法の制限がだいぶ緩和された。生産緑地制度を導入する考えはあるか。 **答** 観光産業課長 新たに適用するのは難しいと思うが、地権者や農業団体からの相談があれば検討する。

問 現在施行中の区画整理事業が終わった後、他の地区での区画整理事業も検討しているようだが、具体的に動き始めた地区はあるか。 **答** 都市計画課長 農業振

財源の使い方について

興地域の代替地の確保や都市計画法の変更など課題があり、まだ未着手である。

問 ふるさと納税を財源としたまちづくり寄附基金の繰入金予算書を見ると、各施策の一般財源の補填に使われており、寄附者の意向が反映されていないように思われる。ふるさと納税や第二保育所民営化で浮く予定の財源を、学校環境の整備など特定された目的に充てていく考えはないのか。 **答** 町長 ふるさと納税は寄附者の意向通りに、第二保育所民営化で削れた財源はできる限り子育て施策に使っていきたい。予算編成でしっかり考えていきたい。



ふるさと納税パンフ



公明党
小松伸介
こまつ しんすけ

人と動物が仲良く共生出来るまちづくりを 動物殺処分ゼロに向けた取組みについて



- 問** 犬猫に係る苦情件数は。 **答** 環境課長 ファンや尿等に関する事が3年間で6件。
- 問** 他市で行っているイエローチョーク作戦の検討は。 **答** 環境課長 大変ユニークな取組み。検討していく。
- 問** 飼い主のいない犬猫の不妊対策の実施は。 **答** 環境課長 近隣の状況を勘案し、検討していく。
- 問** 県は市町村へ様々な補助事業を実施し対策を講じている。当町も検討しているか。 **答** 環境課長 情報は来ているが、町として取組む事業とまではいっていない。
- 問** 飼育・管理に関するガイドラインの策定は。 **答** 環境課長 地域住民が地域の問題として考える機会にもなっている。先進事例として研究していきたい。
- 問** 里親募集制度の創設は。 **答** 環境課長 県では動物指導センターで譲渡を実施。当町で行っている事業を通して町民へ啓発を行いたい。
- 問** 無料不妊手術事業を行う

- うどうぶつ基金への参加は。 **答** 環境課長 当町には動物愛護団体がなく、難しい。
- 問** 町が主体で殺処分ゼロに向けた取組みを行うボランティアを募集出来ないか。 **答** 環境課長 研究したい。
- 特別支援学級について**
- 問** 三芳東中学校が藤久保中学校へ設置出来ないか。 **答** 学校教育課長 今後の入室状況や施設状況を見ながら、前向きに検討したい。
- 問** 通級指導教室の増設は。 **答** 学校教育課長 県の認可となる。今後の入室の状況を見ながら県へ要望したい。
- 魅力あるまちづくりについて**
- 問** 企業協力による工場見学や体験等の観光施策は。 **答** 観光産業課長 重要な観光資源の一つ。企業との連携について調査研究する。



三芳みらい
細田三恵
ほそだ みつえ

地域連携避難訓練について 地域支援コンシェルジュについて



- 問** 各避難所での訓練内容は、誰が決定するのか。 **答** 自治安心課長 各区の区長、民生委員、消防団、学校長、他の代表で構成され、地域防災検討委員会が毎年1月頃開催、平成28年度のアンケート結果を基に今回の骨子を話し合う。
- 問** 防災無線の音が聞こえづらいという声があるが調整は可能か。 **答** 自治安心課長 デジタル化の整備に合わせ聞こえづらい箇所のデータを可能な範囲に生かしていきたい。
- 問** 今後どこに課題がありどう改善されていくべきか。 **答** 自治安心課長 マンネリ化、継承が難しい等々の課題はあるが、事業の基本的な所は定着させつつ、参加しやすさへの工夫、緊張感と共に楽しさの工夫も加えると良い。
- 問** 避難所となる学校体育館にて実際の宿泊体験をしてみたいかがか。 **答** 教育課長 今後町で導入することになった場合には、関係課と連携して調整していく。
- 問** 当町では、どのような災



- 害の防犯体制・仕組みか。 **答** 自治安心課長 平時から地域防災委員や青パト地域防犯の担い手の皆さんへ防犯協力をどうしていくか呼びかけを考える。
- 問** ミサイルに備えた避難訓練の開催予定は。 **答** 学校教育課長 Jアラート音声のCDを学校に配布をしているので、訓練放送、ミサイル発射時の対応の避難訓練も実施する。
- 地域支援コンシェルジュについて**
- 問** 地域支援コンシェルジュにて各地区の支援計画をしたいが町内在住職員数と、行政区ごとの職員数は。 **答** 総務課長 全体で109人。竹間沢12人



三芳みらい
井田和宏
い だ かず ひろ

子供たちの郷土愛を育むために 学校、家庭、地域が一体となった取組みは

問 子供たちの郷土愛を育む取組みは。

答 学校教育課長 地域の資源を活用し、社会科や総合的な学習の時間を中心に体験活動やゲストティーチャーによる三芳の伝統や文化に対する理解を深める学習を行っている。

問 郷土芸能を体験し、学ぶ取組みは。

答 学校教育課長 学校、地域、教育委員会が協力しお囃子や車人形等の体験や発表する場を設けている。

問 子供たちの具体的なボランティア活動は。

答 学校教育課長 生涯学習課や社会福祉協議会が行うボランティア活動、また学校ごとでも行っている。

問 子供たちが町内のイベントや催しに参画しては。

答 学校教育課長 町内の多くのイベントや催しに参画している。企画の段階から参画するためにはイベント等を実施している方と検討していくことが必要であると考える。

問 学校外での活動を記録する手帳を配布しては。

答 学校教育課長 ボランティア活動や社会奉仕活動の記録を残すことによって

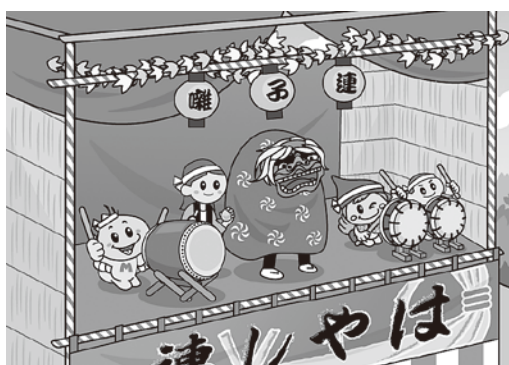
今後の意欲付けになると考える。

問 子供たちの考え方を町へ提言しては。

答 学校教育課長 子ども議会や中学生が町の財政を学ぶ場等を通じて町に対する意見や要望を発表する機会を設けた。今後も提言する機会を作っていきたい。

問 地域コミュニティの拠点となる学校づくりは。

答 教育長 子供たちの郷土愛醸成のためには地域の人と関わり、地域から愛され大切にされていると実感することが大切であると考える。今後も地域コミュニティの拠点となる学校づくりを進めていきたい。



三芳みらい
安澤豊
あん ざわ ゆたか

超高齢化社会へ向けた抜本的改革を 行政サービスの今後は



問 ひとり暮らし高齢者会食会や福祉新聞作成配達によるひとり暮らし高齢者の見守り、サロンの推進など、社会福祉協議会中心の活動や民生委員による見守り活動事業等で、ひとり暮らし高齢者世帯を把握している状況だが、ひとり暮らし高齢者世帯だけを対象にした生活実態調査は、町はどのように行っているのか。

答 福祉課長 ひとり暮らし高齢者世帯だけに特化した生活実態調査は行っていないが、様々な方から情報をもらい、心配のある方には方策をとり支援している。

問 高齢者世帯の見守り活動事業等行っている民生委員への情報提供は。

答 福祉課長 ひとり暮らし世帯に限ったことではないが、福祉課より年に1度、65歳以上の方の名簿を配り、民生委員による訪問活動により、生活実態を把握してもらっている。

高齢者や障がいのある方のごみ出しの支援

問 高齢者のごみ出しを巡る課題の本質は、ごみ出しが困難でありながら、必要

な支援が受けられない高齢者が増加していることにある。身体的衰えや認知症等、高齢者や障がい者にとってごみ出しの負担は大きい。超高齢化進行に伴い、ごみ出し困難な世帯は広がる。地域の支え合いだけでは済まなくなってきたのではないかと。

答 福祉課長 今後、高齢化が進行し、高齢者ごみ出しは切実な課題である。地域の支えあいと行政サービス一体となって、既存のフォーマルと新たな政策を組み合わせながら、今後進めていきたい。

その他の質問

マイナンバーカードについて。





三芳みらい
山口正史
やまぐちまさふみ

三芳町の人口政策について 進捗状況及び今後は



問 各自治体は将来の人口減少に危機感を持つている。第5次総合計画では平成35年の人口推計を3万6513人、目標を3万8540人と設定している。人口維持の政策として区画整理を掲げているが、平成29年度で大体終了する。平成35年の目標は達成可能か。

答 政策推進室長 平成29年は区画整理等の前倒しにより人口は約3000人増加している。今後平成35年までに推計値より1700人増加を見込んでいます。

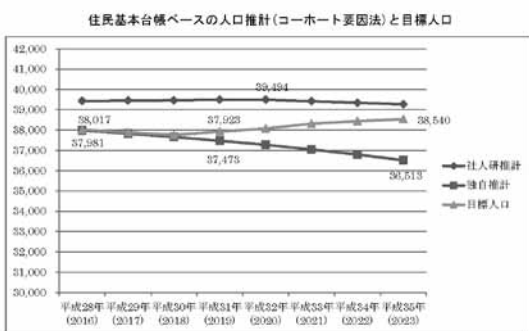
問 第5次総合計画では人口対策として土地区画整理による優良住宅地の造成が具体的な政策として記載されているが、他に有効な政策は考えていないのか。

答 政策推進室長 町の特性を生かした魅力的な子育て環境の整備など、町の良さをアピールしたい。

問 他市町村からの転入を促したい年齢層はあるか。

答 政策推進室長 20代から40代を中心にファミリー層の転入を図るとしている。

問 財政状況が悪い結果、町の未来を展望できるような政策に乏しいのでは。



答 政策推進室長 健全な財政を保つことは重要だが、魅力有る町づくりは行政の責任と考える。町の特性を生かし、付加価値を加えて町の魅力を創出した。

学校のトイレの洋式化

問 町の学校トイレ洋式化率は20%代に留まるが志木市は90%を越えている。トイレの洋式化を公共施設マネジメントで行うとの話があるが、公共施設マネジメントは建物の延命策が主な目的でトイレ洋式化は学校環境の改善で、早急に改修計画を立案すべきでは。

答 教育長 喫緊の課題と考え、平成30年度設計から着手できるようにしたい。



日本共産党
増田磨美
ますだますみ

どう進む 第二保育所民営化 豊かな地域づくりのため公民館で活動しよう



問 町立第二保育所の民営化に当たり9月に立ち上がった移管先法人選定委員会での審議状況は。

答 ことも支援課長 保育所運営に、申し出のあった4法人を対象に11月23日に公開プレゼンを行ない、その後、委員で法人の運営する保育所の視察に行き12月16日の委員会で決定した。

問 プレゼンを見に来た保護者は少なかったがアンケート以外に当日のビデオなど見てもう機会を設け意見を聞く必要があるのでは。

答 ことも支援課長 委員の意見を聞いて検討する。

問 町立第二保育所の土地建物について重要政策会議で建物は無償譲渡と決まった。平成30年度末の償還残高は1億5894万円、毎年度償還額は1732万円。

重要政策会議 の中では閉園し創出される財源2年分で元が取れると協議しているが平成25年に改築し、わずか2年で民営化の話がでており2億3000万円をかけた建物は今回無償譲渡となった。他自治体では、



中央公民館

財政が厳しいので無償譲渡で法人に建て替えてもらって保育事業を続けてもらうというのが一般的。民営化の大きな理由は財政が厳しいという事だったのになぜ耐用年数も充分にある町の財産を無償譲渡としていくのが長中期ビジョンはどのように考えていたのか。

答 町長 多くの保育士の退職があり償還が残っているが町にメリットがあると思えば民営化を決めた。

豊かな地域づくりに役立つ公民館に

問 平成30年度からの使用料免除の考え方は。

答 公民館長 今後は利用団体に減免制度の具体的な内容について支援しながら丁寧に行っていく。



国民健康保険税の値上げについて 町民の足の確保を

日本共産党
本名 洋
ほん な ひろし

問 国民健康保険運営協議会ではどのような協議が行われたか。

答 **住民課長** 運営協議会に対し、税率の見直しは町長より諮問され3回協議した。概ね改正案に賛成の意見であった。

問 税率改定を決定した理由は。

答 **住民課長** 国民健康保険特別会計は、一般会計から繰り入れが必要な厳しい財政状況が続いている。平成30年度の都道府県化に伴い、県の試算額を納付するには、現行の税率では一般会計からの繰入金金の減少は見込めないで改定した。

問 県への納付額の提示が行われる前に税率改定した理由は。

答 **住民課長** 12月議会で可決せねば平成30年度の予算編成に間に合わない。

問 先日、町長は「一気に上げない。県の動向を見ながら」と言ったが。

答 **町長** 一気に上げることは考えてない。

問 一般会計からの繰り入れは今後も行っていくべきでは。

答 **住民課長** 一般会計からの繰り入れは継続する

が、減少させていく。

町内公共交通について

問 ライフバスの路線再編で、藤久保地域からは歓迎の声がある一方、ふじみ野駅に行く路線が無くなることについての見解は。

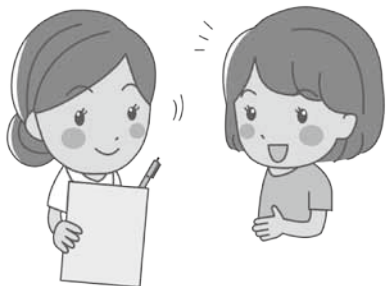
答 **政策推進室長** 鶴瀬駅に行く路線があるので駅に行く手段は確保されている。

問 高齢者福祉バス利用券の復活やタクシー利用補助券支給などの早急な具体策が必要なのでは。

答 **政策推進室長** タクシー利用の補助は他自治体の状況を踏まえ検討している。

その他の質問

自治体の内部統制について



スマートIC大型車導入への税金投入は問題 (仮称)三芳バザール賑わい公園構想は問題

日本共産党
吉村美津子
よしむらみ つこ

問 税金投入の大きいスマートICフル化・車種拡大はやめて、学校給食費の無償化や高齢者の地域福祉バス券の復活など社会保障の充実こそすべきでは。

答 **町長** 議員の言うことは分かる。スマートICフル化は交通安全対策を整える。福祉施策も考慮する。

(仮称)三芳バザール賑わい公園構想問題

問 住民との懇談会は。

答 **総合調整幹** 11月21日に11名で行った。

問 この事業に対しての反対意見は。

答 **総合調整幹** 全国の道の駅では赤字運営になっているので良くないのと。

問 平成29年度当初予算で「官民連携基盤整備推進調査費」が1380万円計上された。応募者は何社か。

答 **総合調整幹** 3社。

問 応募の際に3社は提案書を提出していると思うので議会への提出を求めている。契約金額はどの位か。

答 **総合調整幹** 1379万2600円。

問 国と町が土地を購入して、建物の建設費も税金を

使う。その後、民間会社に移す。民間会社が赤字経営になると、そのつげは町となる。結局住民負担となる。このような事業は町が行うことではない。一部の住民や執行部・議会だけで決めないで、多くの住民の意見を聴くべきでは。

答 **総合調整幹** 町民の多くから意見を聞いていく。

問 土地購入や建物建設などへの国・町の支出額は。

答 **総合調整幹** 調査結果が3月に出るので、その時に分かる。

問 調査結果を議会や住民に提示すべきでは。

答 **総合調整幹** 開示できないページもあると思うので、精査の必要があると思う。



三芳スマートIC

報告

総務常任委員会

【所管事務調査報告】

総務常任委員会では、10月26日から27日にかけて、道の駅及びデマンド交通、11月9日には「竹間沢こぶしの里」を、それぞれ所管事務調査を実施いたしました。

○調査目的 (仮称)三芳バザール賑わい公園構想に係る民間活力の導入や集客力の向上に関する調査。

【道の駅あいつ 湯川・会津坂下】

計画から開業まで8年間を要しました。利用者は地元住民が多く、地域住民7割近くに対して、観光客は3割ほどのことでした。併設の農家レストランは、地場産のお米や野菜を使用して直売所と連携をしていました。集客を高めるため、旅行代理店への営業や各種イベントを数多く実施していました。



【道の駅 ららん藤岡】

平成8年に、藤岡PA地域拠点整備事業整備計画書の策定により、人・物・情報の交流拠点整備が進められた。立地状況は、関越自動車道、上信越自動車道、北関東自動車道の結節点という、極めて好立地の状況でした。開業当初は、認知度の低さから赤字経営でしたが、その後、地元店、都内及び近郊の有名店などがテナントになったことにより、黒字経営に転換し、現在のテナント状況は、空きが無いような状況でした。

○調査目的 デマンドタクシー廃止に伴う交通空白地の問題や高齢者免許証自主返納を促すための持続可能な公共交通システムに関する調査。

デマンド交通「たんたん号」

平成17年の総合計画に、地域密着の移動手

段構想を目標に掲げ、計画から5年後の平成21年にデマンド交通「たんたん号」を実現されました。年間の委託費は、2820万、運行時間は午前7時から午後6時まで、利用料金は1回につき100円、年中無休でドアtoドア、小学生から利用が可能でした。



○調査目的 要望書の提出に伴う現地調査
【竹間沢こぶしの里整備進捗状況】

自然を生かした公園で、夏にはほたるが飛び交う夏の風物詩の場所です。この光景は、ボランティア組織「竹間沢ほたる育成会」の日頃の努力によるものです。現地は、急傾斜地で湧き水が多く発生していることから、木質の遊歩道や手すりに一部腐食があり、また、池や水路のヘドロの状況も確認されました。安心して見学のできる状況を維持するために、これらの箇所を早期に修繕することが必要なことから、総務常任委員会として、議長を通じ町長へ要望書の提出をしました。



報告

第2回・第3回
政策サポーター会議

第2回政策サポーター会議・第3回政策サポーター会議が開催されました。
活発な意見交換の上、課題が抽出されました。

11月29日に第2回政策サポーター会議、そして12月20日に第3回政策サポーター会議が開催され、「地域の特長を活かした観光資源の整備」について具体的な議論がはじまりました。両日とも2グループに分かれワークショップ形式で、三芳町の観光の強み、弱みを挙げ、そこから見えてくる課題を抽出しました。淑徳大学の堀木先生からの助言をいただきながら、両グループともサポーターの方から多くの意見が出されていました。その中から、課題として下記の4点に絞り込まれました。

- ①観光拠点の整備
- ②観光推進のための人づくり
- ③情報発信の拠点整備
- ④住みよいまちづくり

次回以降は、これらの課題を解決するための手法を議論し、具体的な提言につなげていきます。



その1

アドバイザーから一言 (全2回)

2017年10月、政策サポーター会議で三芳町の観光のあり方についての議論がスタートしました。なぜ、観光地でもないわが町で？と疑問に思われる方もいらっしゃるでしょうか。確かに「観光」というと、自然や歴史など著名な見所を有していたり、あるいは温泉に恵まれていたりという地域のものであり、観光客のためのサービス向上、あるいは観光客を迎え入れる観光産業振興のための施策というイメージかもしれません。

しかし近年の「観光」の取り組みはこのような目的のためだけに実施されるものではありません。「地域の目標・目的としての観光振興」ではなく「魅力的な地域づくりの手段としての観光」とでもいえば良いでしょうか。「住んでよし、訪れてよし。」という表現もあるよ

うに、まず住民にとって魅力的な地域づくりを推進し、その結果、観光客にとっても訪れたいような魅力ある地域が実現される、という考え方です。

ふだんの生活の中で忘れてしまいがちな足下の魅力を見つめ直し、地域が抱えている課題の解決に結びつけるアイデアを検討するという政策サポーター会議での議論のプロセスが住民の皆さんがわが町・三芳町についてあらためて考えを深めるきっかけとなることを期待しています。



政策サポーター会議アドバイザー
堀木 美告氏 (淑徳大学観光経営学科准教授)

三芳町議会に 全国から視察研修来訪

議員が市町村の抱える課題について先進的な取り組みを行っている自治体を訪問し、視察、研究を行い、自らの市町村の政策に役立てること、他市町村職員・議員と交流し現状を知ることなどが視察研修の目的です。

三芳町議会は、平成 22 年に議会基本条例を公布、施行して以来「開かれた議会」「わかりやすい議会」を目指し議会改革に取り組んでおり、これらの内容を評価していただき、他議会から視察先に選んでいただいております。視察研究に訪れる議会への説明等は、視察内容を所管する委員会の委員が議長、事務局と共に対応しています。

例) 視察内容 「議会基本条例について」 → 対応する委員会 議会運営委員会の委員

平成 29 年度視察来訪された議会を紹介します



福岡県志免町議会



石川県穴水町議会



宮城県大和町議会

日程	来訪議会名	視察内容
平成 29 年 7 月 24 日	埼玉県嵐山町議会	議会広報広聴常任委員会の所管事務等
7 月 25 日	長野県箕輪町議会	議場解放を含めた利活用及び情報共有
8 月 7 日	福岡県志免町議会	議会改革の取り組みについて
10 月 13 日	茨城県城里町議会	議会改革について
10 月 16 日	群馬県吉岡町議会	議会改革の具体的な取り組み
11 月 2 日	茨城県常総市議会	議会だよりの発行 広報誌の見せ方
11 月 15 日	石川県穴水町議会	議会改革等
11 月 20 日	宮城県大和町議会	夜間・休日議会 議会報告会



表紙写真のご紹介

11 月 26 日に開催された福祉まつりで撮影しました。

福祉活動を行うボランティアグループや市民活動団体、福祉施設の皆さんが協力して、藤久保小学校の校庭・体育館、みらい広場、藤久保公民館、保健センターを使用し開催されています。テントの出店や、様々なアトラクション、趣向を凝らした企画など、お子さんから大人まで多くの町民の皆さんが楽しんで行かれました。

子ども議会



12月17日（日）第4回三芳町子ども議会が開催されました。

町内8校の小中学校代表16名による一般質問や意見発表がありました。三芳町の良いところ、更にこうしたら良いのではとの意見等三芳町を良くする建設的な意見が多くありました。各学校を代表して三芳町の良いところを更にPRし、伝統継承など三芳町の未来づくりに力を発揮してほしいです。

Q.1 子ども議会に参加した感想は？

A. 違う環境で緊張しましたが、楽しく、貴重な体験をさせていただきました。今後に活かしていきたい。

Q.2 議員に将来なりたいですか？

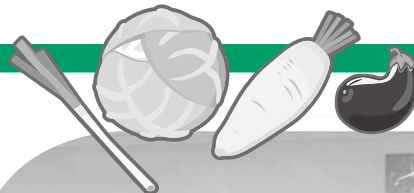
A. 将来の夢がありますが、議員になってみたいです。

Q.3 将来三芳町に望むこと

- A. 希望はいい町になって、将来も家族にやさしい町になってほしい。
- A. 自然を大事にしてほしい。
- A. 大人と子供の交流がもっとできる町になってほしい。

Q.4 三芳町のどこを案内しますか？

- A. 三芳の野菜や食べ物のおいしさを紹介したい。
- A. 三芳のホテルを見せてあげたい。
- A. 川越芋や新鮮野菜を紹介したい。



祝成人！二十歳の門出

平成30年1月8日成人式が開催され、新成人365人（当日出席255人）の皆様が新成人として晴れの日を迎えられました。約4ヶ月の間、当日の準備や設営に奮闘していただいた成人式実行委員会の皆様本当にお疲れ様でした。ここではその新成人から3名の方のインタビューを紹介いたします。



佐藤樹
実行委員長



- ①「活気がある」と思います。人よし住みよし未来よしと聞きますが、まさにその通りだと思いました。
- ②多くの人と関わり、多様性を感じながら、自分の生き方や在り方を確立していきたいです。
- ③様々な思想や表現が多数によって排斥されず、共存できる場所であって欲しいです。
- ④両親や先生方を始め、多くの皆様の叱咤激励があっただけで今の自分がいます。本当にありがとうございます。

清水恵美
実行委員



- ①友達と遊んだいろいろな場所、学校の行事で見学に行ったところやお世話になった人々。小さい頃を思い出すと楽しいことばかりでした。
- ②社会の中で自ら出来ることを模索し、自ら行動を起こし、その行動一つ一つに一層の責任を持っていきたいです。
- ③復興問題や平和な日々が脅かされるといった不安が少しでも解消されていけばと思います。
- ④感謝してもしきれません。これからも三芳町の行事に携わっていきたいと思います。

中川将和
実行委員



- ①小学校、中学校生活を通じてたくさんの人と出会えたことです。
- ②周囲に頼るだけでなく、より主体性をもって行動していきたいと思えます。
- ③たくさんの人と出会える、またいろいろなことに挑戦しやすい環境を形成していただきたいです。
- ④大変お世話になりました。ご迷惑もたくさんおかけしましたが、これからもよろしくお願いします。

質問内容

- ①三芳町の思い出
- ②成人としての心構えやこれからの理想像
- ③これからの社会に期待すること
- ④お世話になった方々へ一言

皆さんのこれからの活躍をお祈りします。



表彰されました



菊地浩二議員が議員10年以上の功績により、入間郡町村議会議長会より表彰されました。おめでとうございます。

ふれあい座談会(議会報告会)を開催します。

平成30年度ふれあい座談会(議会報告会)を

4月21日(土)午前9:30～ 藤久保公民館(全議員)

午後2:30～ 中央公民館(1班)

4月22日(日)午前9:30～ 竹間沢公民館(2班)

の2日間に渡り開催します。

昨年は3会場で延べ57名の方に参加いただきました。

平成30年度の予算及び3月議会の報告を行い、その後、ワークショップ方式を用いて、参加者からの貴重なご意見・要望等を伺います。

住民の皆様のご意見ご要望は、大変貴重であります。是非、議会広報広聴常任委員会並びに、身近な各議員へ遠慮なく問い合わせてください。皆様のご意見、ご要望が未来の三芳町を変える礎となります。今後とも、議会広報広聴常任委員会では、住民の皆様の声の聴き、その声を伝える役目を果たすために、活動していきます。



<https://www.facebook.com/miyoshimachigikai>



次の議会定例会は

3月1日(木)



開会の予定です



皆様の傍聴を
お待ちしております

▶ 議会の動画を配信しています。



議員の一般質問等の動画をインターネット動画配信サイトYouTube上でご覧になることができます。本号の記事中にある動画のQRコードを読み込むか、下記URLにアクセスしてください。

三芳町議会 中継ページ

<https://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/gikai/gikai-chukei.html>

編集後記

12月1日より開催されました平成29年第7回定例会も12日に閉会しました。今回も14名の議員が町政の課題を追及するべく質問席に登壇しました。どの議員からの質問も今後の三芳町に対する思い、町民の安心安全に対する思いを、持ち時間の1時間という短い時間の中で目一杯訴えていたように感じます。また、今定例会も多くの町民の方が傍聴に来ていただきました。常日頃、三芳町議会に関心をいただき本当に有難うございます。一般質問を傍聴に來られない方に朗報です。三芳町議会では3月定例会よりYouTubeでの録画配信を開始いたしました。傍聴に行きたいけど時間が…という方は是非ご覧になつてください。議会だよりに掲載されている一般質問は一部だけの掲載のため、動画の配信を見ていただくことで、より気持ちが伝われば嬉しいです。今後も皆様により分かりやすくお伝え出来ますよう委員一同、取組んでいきます。

議会広報広聴常任委員会

委員 久保	委員 澤	委員 安	委員 本	委員 久	委員 鈴木	委員 岩	委員 増	委員 菊	委員 井
委員 久保	委員 澤	委員 安	委員 本	委員 久	委員 鈴木	委員 岩	委員 増	委員 菊	委員 井
委員 久保	委員 澤	委員 安	委員 本	委員 久	委員 鈴木	委員 岩	委員 増	委員 菊	委員 井

声の議会だより：朗読ボランティア「けやき」の皆さんが朗読したものを三芳町議会ウェブサイトで見ることができます。